

第13回 国家財政の見える化委員会 開催

2025年3月7日（金）14:00～15:30 会場（キリングループ本社）&オンライン 開催

5000人を対象としたアンケート結果やオープンな議論の場をつくる新しい取り組みについて意見交換を行いました。



▲江田座長名代
(キリンビール株式会社 執行役員)



▲会場の様子

事務局より報告・提案

【24年度活動進捗報告】

- 複数年度予算制度・独立財政機関実現に向けた取り組み
・与野党へ積極的に要望や意見交換を行った
- ・複数年度の予算執行においては基金の運用で十分との見方が強く、基金との比較において明確なメリットを打ち出すことが実現に向けた課題のひとつである
※基金の調査について一部裏面でご紹介しています

【アンケート結果報告】

- 約5000名対象、全25問のアンケート結果を報告

【オープンな議論の場創設の提案】

- 取り組みの実行度向上に向けたオープンな議論の場を創設し、議員やメディア、学者へ議論を広げる

出席者ご意見※抜粋

【アンケート結果】

- ・非常に重要な結果だと捉えた。財政に対して正しい認識が持たれていないことが見受けられたため、このアンケート結果をさらに分析し、追加調査をした内容をファクト集として公開するはどうか

【オープンな議論の場】

- ・会員だけでなく、議員・メディア・学者に議論を広げていくことは重要である
- ・一方、外部を巻き込むという観点では、主旨をイメージしやすい名づけが重要である

【事務局所感】

- ・かねてより「課題自体が分かりづらく、参加や発言がしづらい」といったご指摘をいただいていたが、分かりやすい内容にこだわって工夫を重ねた。その甲斐あってか、発言の絶えない委員会となった。
- ・一方、アンケート結果の意見交換では、財政に対する正しい認識を持つための正確さの重要性についても意見が挙がった。
- ・分かりやすさと正確さは両立が難しいテーマではあるが、その両立を実現できるよう今後も工夫を重ねたい。
(ぜひ秋の委員会も奮ってご参加ください!)